



電気化学会関東支部 第53回学際領域セミナー

医薬工連携：隠れたニーズとシーズを探る

日 時：2017年11月2日(木)午前10時00分～午後5時00分

場 所：明電舎大崎会館

(東京都品川区大崎二丁目5-35、JR大崎駅西口より徒歩8分)

医療の発展は機器開発に支えられていることは論を俟ちません。しかし、我が国の医療機器は輸入超過の状態であり、国内の優れた基礎技術がなかなか実用に至っていないことが問題視されています。本研究は、隠れたニーズとシーズを掘り起こし、我が国の国産技術を実用に繋げていくためには何をすればよいのかを考える切っ掛けにしたいと思えます。

午前中は、医のサイドから、工学者には余り知られていない隠れたニーズについて語っていただき、午後は電気化学の関連技術のシーズを語り、最後に基礎技術を効果的に実用化するための戦略についてもお話を伺います。

◎開会の辞

(10:00～10:10)

1. 救急医療の現場はニーズの宝庫(仮題)

(10:10～11:00)

自治医科大学 間藤卓

2. 治療薬モニタリング(TDM)が工学者に求めること(仮題)

(11:05～11:55)

慶應義塾大学 谷川原祐介

3. 講演内容についてのQ&A

(11:55～12:25)

◎昼食(12:30～13:30)

4. 分子インプリント固定電極を用いた薬物検出用センサの開発(仮題)

(13:30～14:20)

芝浦工業大学 吉見靖男

5. 高速に感染源を特定するセンサ技術(仮題)

(14:20～15:10)

東京農工大学 田中剛

6. 医療機器の正しい開発戦略の立て方(仮題)

(15:20～16:10)

東北大学臨床研究推進センター 池田浩治

7. 講演内容についてのQ&A

(16:10～16:50)

◎閉会の辞

(16:50～17:00)

【参加申込締切】 10月25日(水): 定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください(先着順)。

【参加費】 個人・法人・協賛学会会員10,000円、専門研究会員15,000円、非会員20,000円、学生2,000円
※原則として銀行振込にてお支払いをお願い致します。

【参加申込方法】 氏名、所属および連絡先(〒、住所、TEL、FAX、E-Mail)、参加資格(会員/非会員/学生)を明記の上、E-mail(kanto@electrochem.jp)またはFAX(03-3234-3599)にてお申し込み下さい。

【申込先】 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-30アルス市ヶ谷202 電気化学会関東支部
(TEL 03-3234-4213, FAX 03-3234-3599, E-mail: ikezuki@electrochem.jp)

【振込先】 りそな銀行市ヶ谷支店・普通預金口座(名義: 関東支部, 口座番号: 1601943)

主催 電気化学会関東支部

協賛予定 化学工学パイオ部会、化学工学会関東支部、化学センサ研究会、日本TDM学会、日本人工臓器学会、日本医工学治療学会